【公表】

|  |
| --- |
| **進捗状況の概要　（１ページ以内）** |
|  |

|  |
| --- |
| **（１）事業の実施体制（３ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **学内の組織的な実施体制が整備されているか（学長又は研究科長等のリーダーシップの下で学部・大学院・関連組織が密接に連携した体制の構築等を含む。）。【学内の実施体制】**
 |
|  |
| 1. **取組の自己評価及び外部評価が適切に実施できる体制が整備され、自己評価や外部評価の結果を反映するなど、発展的な見直しが行われる体制となっているか。【評価体制の整備】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| **（２）事業の具体的な取組の進捗状況（７ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **以下の評価項目に則して、取組は着実に進捗しているか。【取組の進捗状況】**

**１）人文・社会科学系等の分野と情報系分野の素養を備えた人材養成のための教育改革・組織整備等****人文社会科学系分野等の大学院生が、自らの専門分野だけでなく、ＭＤＡに関する知識・技術を習得するための、体系的で高度な学位プログラム（以下「本学位プログラム」という）を実施するための計画が着実に実施されているか。また、本学位プログラムが、事業実施期間内において、当初の計画どおり修了者を輩出することが見込まれるか。****２）社会ニーズに応える教育の工夫****教育プログラムの開発・実施にあたって、社会のニーズに対応した教育が提供できる工夫が構想・計画されているとともに、実施事業の意義等について、企業等へ普及させるための具体的な構想・計画が実施されているか。** |
| ①「三つの方針」を通じた学修目標の具体化②授業科目・教育課程の編成・実施③学修成果・教育成果の把握・可視化④学修成果や教育成果、教育の質に関する情報の公表 |
| 1. **申請時に設定した目標等（※）に対する達成度はどうか。【目標に対する達成度】**

**※選定以降、文部科学省の承認を経て目標等を変更した場合は、変更後の目標の達成度を加味することとする。** |
| 【申請時に設定した定量的な数値目標の達成状況】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 |
| 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | 実績 |
|  | 　　 | 　　 | 　　 | 　　 | 　　 | 　　 | 　　 | － | 　　 | － |
|  |  |  |  |  |  |  |  | － |  | － |
|  |  |  |  |  |  |  |  | － |  | － |

【取組と成果】※目標の設定根拠、達成状況に係る分析や取組の成果について記載 |

|  |
| --- |
| **（３）事業の実施計画・継続性、事業成果の普及（２ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **各年度の計画及び事業の実施状況を踏まえた今後の見通しはどうか。【計画の見通し】**
 |
|  |
| 1. **学内体制や教員配置等の面から、補助期間終了後も継続的に事業が実施されることが十分見込めるものとなっているか。【体制的な継続性】**
 |
|  |
| 1. **資金計画の面から、補助期間中、事業規模を縮小せず計画を遂行することが見込める内容・進捗となっているか。また、補助期間終了後も継続的に事業が実施されることが十分見込めるものとなっているか。【資金的な継続性】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| * 1. **先駆的なモデルとなり、取組を波及させる計画を進めているか。【先進性・波及効果】**
 |
|  |

|  |
| --- |
| **（５）選定時に付された留意事項及びフォローアップ報告書への対応（３ページ以内）**各進捗状況について、具体的に記載してください。 |
| 1. **選定時において付された留意事項への対応を適切に行っているか。【選定時に付された留意事項への対応】**
 |
| 採択時において付された留意事項 | 対応状況 |
|  |  |
| * 1. **フォローアップ報告書において付された課題・意見への対応を適切に行っているか。【報告書等への対応】**
 |
| フォローアップ報告書において付された課題・意見 | 対応状況 |
|  |  |